

# こうとう民報

2017年12月号 No.157

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 こうとう民報編集委員会  
責任者 猪又 武夫  
住所 江東区東陽2-3-5-203  
電話3648-5155 FAX3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-minpo.jp/

## すべての世代が手をつなぎ 安心して喜らせる社会に!



第29回江東区高齢者集会

12月2日、江東区文化センターで「すべての世代が手をつなぎ、安心して暮らせる社会に!」をスローガンに、第29回江東区高齢者集会が開かれ、80人が参加しました。

集会は、実行委員会の鶴澤文昭委員長の開会挨拶に続き、明治学院大学の河合克義氏が「すべての世代に広がる貧困・孤立、みんなで取り組む課題は」と題して講演しました。

河合氏は、全国各地で豊富な調査活動に携わり、貴重なデータをもとに講演。また、直接企画に携わり自らも出演したテレビ番組の録画の抜粋を上映し、「老後破産」の生々しい実態を紹介しました。

特に、「65歳以上で自宅で死亡する「孤立死」が都市部で増え、東京23区では最近7年間で1.5倍に、さらに65歳未満の「現役世代」の孤立死も増えており、潜在的だが深刻な実態も示されました。

貧困と孤立の問題が潜在化しているのは「困っていても声を上げない、上げたくない」



写真は、テレビ番組の録画上映を解説する河合克義氏

来々年4月、江東区国民健康保険の制度が大きく変わり、保険料は東京都が決めた大枠に基づいて決めるようになります。

この制度変更に伴って、国や東京都はこれまで江東区などが保険料の値上げを抑えるために行っていた独自助成をすべてなくすように求めています。

都の新しい基準で試算すると一人平均年間約3万4千円の値上げ。65歳、単身の年金収入200万円の人の保険料

は約1万7千円値上げの22万2千円に。また45歳の夫婦と子ども二人の4人世帯で、年収400万円では10万3千円の値上げで保険料は58万8千円となります。

### 国民健康保険料大幅値上げ!?

を支える制度であるため、(加入者は)高齢者や低所得者が多く、所得に対する保険料の負担割合が高い」と認め、保険料の軽減措置が必要としています。

### 運動を広げ、保険料の引き下げを

区は現行の保険料について「国民健康保険は国民皆保険

この間の運動で、来年度は23区統一保険料を継続し、保険料の大幅上昇を抑えられることになりましたが、引き続き高すぎる保険料の値上げにストップをかけ、値下げさせる運動を強めることが必要です。

江東区社会保障推進協議会では高すぎる保険料の値下げを求める署名運動を進めています。(事務局・東京土建江東支部担当 内藤氏 03-3640-2411)



講演中の川上充氏

### 消費税廃止江東各界連 学びを力に運動広げ 増税は中止に!

11月28日、消費税廃止江東各界連は総合市民センターで、学習会を開催しました。主催者挨拶を上原謙江東民商会長が、講演は川上充消費税をなくす全国の会世話人が行いました。行動提起を赤羽日新江東民商事務局次長が、閉会挨拶を東京土建江東支部油谷正孝執行委員が行いました。

上原氏は、安倍首相は19年に消費税10%にしようとしている。生活はより苦しくなり、中小企業は複数税制になるとして、中止・廃止へ運動を広げようと呼びかけ。

講師の川上氏は、消費税増税反対のたたかいが重要な局面を迎えている。安倍首相は「消費税の使い方を変え教育に使うので国民の審判を仰ぐ」と、消費税問題を最大の口実に解散総選挙に打って出た。これは教育を人質にした究極の悪政だ。国民の信任を得たので、消費税増税10%を何としてもやると腹を固めていると思う。

師走に入り冬晴れの日々が続きますが、寒波と空気の乾燥による冬の感染症で咳込み難渋しました▼沖繩県野湾市・普天間基地周辺の保育園や小学校への米軍ヘリからの落下物事件のニュースが流れました。この一年、都議選や総選挙でもさまざまな問題が浮上り、そのままを越すことになりました▼今年の漢字は「北」。「モリ・カケ」で国民の怒りが沸騰し、都議選で歴史的敗北を喫した自民党が、総選挙では議席を維持、その要因は「北朝鮮のお陰」ともらした党幹部。一方では「北」の字は「背中合わせ」だから正面から向き合って平和的解決を示唆すると、深読みする向きもあります。「無条件の対話」を米国防長官は言いだしました▼4日の国連総会決議は、「核兵器禁止条約採択の歓迎」を明記。10日には、この採択に貢献した国際キャンペーン(ICAN)がノーベル平和賞を受賞し、被爆者サロー節子さんがメダルを受け取りました。威嚇と脅威しか口にしない米日首脳間の国際的孤立化は避けられないでしょう▼総選挙の結果が実証したことは、市民と野党の共闘こそが、偏狭なナショナリズムで9条を亡き者にする政治に終止符を打つ唯一の道であるということです。10月に誕生したばかりの江東市民連合ですが、年末も年始も3000万署名の推進と市民の共同を広げる活動が続けられています。



付録・近代文化と江東

近代小説と江東

概説 江東の歴史 (75)



近代文学の中でも、江東はその舞台となりました。夏目漱石は、芭蕉庵のあった深川は憧れの地でした。

永井荷風も、江戸情緒を伝える深川へ足を向けました。「深川の唄」で、不動尊前で三味線をかかえて歌沢節を歌う盲目の男を描き、洲崎遊廓を舞台にした「夢の女」や「元八幡」「放水路」を収めた「日和下駄」など、多くの作品があります。

谷崎潤一郎の「刺青」は、佐賀町の刺青師清吉が主人公の小説で、彼の出世作となりました。谷崎家の菩提寺は猿江の慈眼寺で、潤一郎の祖父は釜屋堀釜六の総番頭でした。「お艶殺し」「秘密」などに深川の下町や深川八幡が舞台となります。

芥川竜之介は本所育ち、府立三中(両国高)で学びました。「本所両国」は震災後の江東を描き、川蒸気や亀戸天神、萩寺のことを回想をまじえて書いています。

志賀直哉の「暗夜行路」には、主人公が洲崎遊廓に通う場面があり、木場や砂村の養魚場などが描かれます。尾崎士郎の「人生劇場」でも、洲崎や砂村が舞台となっています。

3月10日の東京大空襲は、多くの作品に描かれ、広津和郎「泉への道」には、ウメが父母と自動車会社の塀に潜んだ話や、堀田善衛「記念碑」には昭和天皇が下町の焦土をみて、終戦を決意したことが書かれています。

戦後の洲崎については、芝木好子「洲崎パラダイス」、木場の風景は、三浦哲郎「忍ぶ川」にとりあげられました。

この他、古くは泉鏡花「辰巳巷談」、徳田秋声「足跡」、川口松太郎「風流深川唄」、山本周五郎「深川安楽亭」などの時代小説、額田六福「冬木心中」、森山啓「清洲橋」、畑山博「江東区南砂町」等々。最近では、田辺貞之助、九鬼高治が昔話を書いています。

- 1月29日(月) 18時30分 ◆江東民商新春のついで
○1月4日(木) 11時 ◆消費税なくす会宣伝・署名行動
○1月8日(月) 9時 ◆成人式宣伝
○1月20日(土) 13時30分 ◆南砂町地9条の会新春のついで
○1月24日(水) 14時 ◆羽田増價問題国交省説明会
○1月27日(土) 13時30分 ◆江東市民連合講演会
○1月29日(月) 18時30分 ◆江東民商新春のついで



来賓挨拶するあぜ上都議 第45 江東生活と健康を守る会

開会の挨拶で佐藤巖会長は「総選挙の結果を受けて、21世紀に貧困と戦争を起さない社会をめざし、暮らしを守るために、要求を組織、運動化し、実現しましょう」と述べ、つづいて3人の来賓から挨拶がありました。都生連副会長の伊藤えつこ氏は、人生85年と長寿の社会を迎え平和が大事と挨拶を述べました。



講演で鷺見氏は、政府が来年3月に国会提出を予定している「働き方改革」一括法案(労働基準法の一部改正、労働時間等の設定の改善に関する特別措置法の一部改正など)8法案について解説。法案策定にかかわってきた水町雄一郎東大教授によれば「戦後第2弾目の労働法の改革だ」、「初めて労働時間の上限

貧困と戦争を起ささない社会をめざし、暮らしを守る。

11月26日、総合市民センターで江東生活と健康を守る会・第45回定期大会が開かれました。開会の挨拶で佐藤巖会長は「総選挙の結果を受けて、21世紀に貧困と戦争を起さない社会をめざし、暮らしを守るために、要求を組織、運動化し、実現しましょう」と述べ、つづいて3人の来賓から挨拶がありました。都生連副会長の伊藤えつこ氏は、人生85年と長寿の社会を迎え平和が大事と挨拶を述べました。

江東生活と健康を守る会 第45回定期大会

11月26日、総合市民センターで江東生活と健康を守る会・第45回定期大会が開かれました。

江東区労連

第35回秋の学習と交流のついで 「働き方改革」の狙いと 真の働くルールの確立を求めて

11月27日、森下文化センターで「第5回秋の学習と交流のついで」が、江東区労連主催、東京都労働相談情報センター亀戸事務所の共催で開催されました。学習会では鷺見一郎弁護士(代々木法律事務所)が講演。35単組50名が参加しました。

五口市憲法の源流を訪ねる

「戦争法の廃止を求める砂町の会」は11月26日、フィールドワークで五口市憲法草案の故郷を訪れ、改憲許すまじの意をより一層強めました。



深沢家の土蔵前で説明する鈴木富雄さん

山間地にたたずむ深沢家の土蔵。風呂敷に包まれた五口市憲法草案は1968年に発見された。五口市憲法草案の碑に刻まれた自由人権の条項がすごい。

「日本国民ハ各自ノ権利自由ヲ達ス可シ：国法之ヲ保障ス可シ」 五口市郷土資料館に、起草者・千葉卓三郎など若者が現状改善を語り合った学芸講談会の討論題目も。死刑廃止も議論して

の働き方の拡大をはかるものであって、労働法の保護もない雇用形態をめざしているものである。時間外労働も、過労死ラインの100時間までよいとする法案だと厳しく批判しました。労働者が、組織を拡大し全国一律同一賃金など積極的な要求を掲げてきたかえば、一括法も阻止できるし、憲法改悪も阻止できると強調しました。

- ☆ 行事日程 ☆
○1月4日(木) 11時 ◆消費税なくす会宣伝・署名行動
○1月8日(月) 9時 ◆成人式宣伝
○1月20日(土) 13時30分 ◆南砂町地9条の会新春のついで
○1月24日(水) 14時 ◆羽田増價問題国交省説明会
○1月27日(土) 13時30分 ◆江東市民連合講演会
○1月29日(月) 18時30分 ◆江東民商新春のついで